

2025 年 4 月 18 日

関西国際空港

2025 年 ゴールデンウィーク期間中の国際線旅客数予想

2025 年 ゴールデンウィーク期間中(2025 年 4 月 25 日(金)～2025 年 5 月 6 日(火)、計 12 日間)の関西国際空港における国際線旅客数予想*についてお知らせいたします。

*国際線旅客数予想は日本人旅客数と外国人旅客数の合計値です。

- ・期間中の国際線旅客数は、948,400 人(1 日平均: 79,000 人)を見込んでいます。
(※2019 年 ゴールデンウィーク期間実績(11 日間): 842,180 人(1 日平均: 76,560 人))
- ・期間中の国際線出発のピークは 4 月 26 日(土)の 43,900 人、
国際線到着のピークは 5 月 5 日(月)の 45,800 人を見込んでいます。
(※2019 年実績 出発ピーク: 4 月 27 日(土) 46,500 人 到着ピーク: 5 月 6 日(月) 45,070 人)
- ・期間中の 1 日平均では 2019 年比 103%となり、方面別では中国、韓国、東南アジアを上位 3 方面と見込んでいます。

<2025 年 ゴールデンウィーク期間中の国際線旅客数予想>

	旅客数	期間平均	期間平均 2019 年比
出発	483,000 人	40,300 人	102%
到着	465,400 人	38,800 人	105%
合計	948,400 人	79,000 人	103%

* 2019 年ゴールデンウィーク期間は 2019 年 4 月 26 日(金)から 2019 年 5 月 6 日(月)の計 11 日間

<出到着ピーク日予想>

	出発		到着	
第 1 位	4 月 26 日(土)	43,900 人	5 月 5 日(月)	45,800 人
第 2 位	4 月 25 日(金)	43,700 人	5 月 4 日(日)	42,300 人
第 3 位	4 月 27 日(日)	43,200 人	5 月 6 日(火)	41,300 人

<期間中国際線出発旅客数上位 3 方面予想>

	2025 年(12 日間)		2019 年実績(11 日間)	
第 1 位	中国	156,000 人(123%)	中国	116,060 人
第 2 位	韓国	115,400 人(105%)	韓国	100,790 人
第 3 位	東南アジア	73,600 人(95%)	東南アジア	70,950 人

*2019 年実績は大阪出入国在留管理局発表実績値を用いています。

*上表の国際線出発旅客数は日本人出発旅客数と外国人出発旅客数の合計値です。

*()内の数値は期間平均 2019 年実績比です。

【報道関係の方からのお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション
Tel : 072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016 年 4 月 1 日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018 年 4 月 1 日からは関西エアポート株式会社の 100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西 3 空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地 大阪市西区西本町一丁目 4 番 1 号（登記上）	株主	オリックス株式会社 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港 1 番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

1964 年に設立されたオリックスグループは、法人金融、産業/ICT 機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など、多角的に事業を展開する企業グループです。現在は、世界約 30 カ国・地域において、約 34,000 人の役職員により事業を展開しています。

オリックスグループの社会における存在意義は、「世の中がよりよい方向に進むきっかけとなる、“未来をひらくインパクト”をもたらすこと」です。この Purpose を軸に、グローバルで一体となり、社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、14 か国において 70 以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で 2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016 年から他の空港運営事業者と先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱 U F J 銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

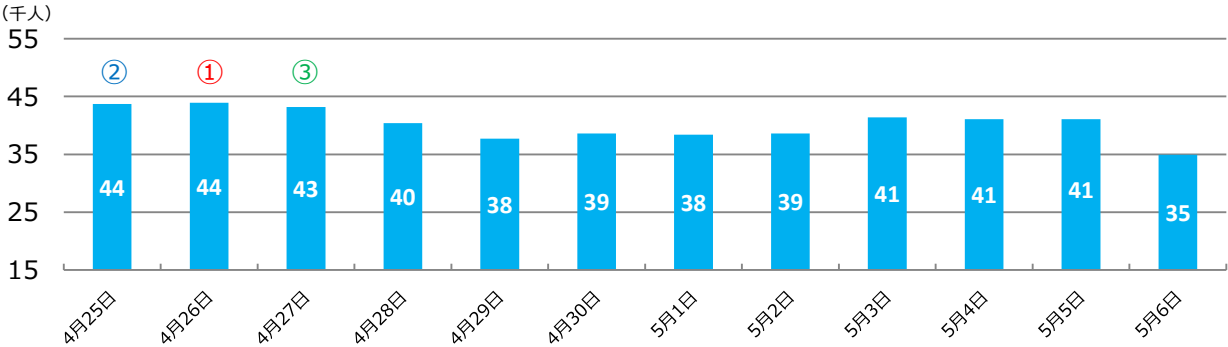
(別紙)

国際線日別旅客数予測

2025年 旅客数予測 (12日間)					(参考) 2019年 旅客数実績 (11日間)				
		出 発	到 着	合 計			出 発	到 着	合 計
4月25日	金	② 43,700	38,700	82,400	4月26日	金	43,180	30,540	73,720
4月26日	土	① 43,900	40,500	② 84,400	4月27日	土	① 46,500	31,490	③ 77,990
4月27日	日	③ 43,200	35,500	78,700	4月28日	日	② 46,180	26,870	73,050
4月28日	月	40,400	36,600	77,000	4月29日	月	③ 45,430	27,480	72,910
4月29日	火	37,700	35,400	73,100	4月30日	火	44,160	34,300	② 78,460
4月30日	水	38,600	39,100	77,700	5月1日	水	40,200	40,570	① 80,770
5月1日	木	38,400	34,400	72,800	5月2日	木	37,680	39,970	77,650
5月2日	金	38,600	36,500	75,100	5月3日	金	33,620	42,940	76,560
5月3日	土	41,400	39,300	80,700	5月4日	土	33,690	③ 43,080	76,770
5月4日	日	41,100	② 42,300	③ 83,400	5月5日	日	33,290	② 44,050	77,340
5月5日	月	41,100	① 45,800	① 86,900	5月6日	月	31,890	① 45,070	76,960
5月6日	火	34,900	③ 41,300	76,200					
合 計		483,000	465,400	948,400	合 計		435,820	406,360	842,180
期間平均		40,300	38,800	79,000	期間平均		39,620	36,940	76,560

① = 第1ピーク ② = 第2ピーク ③ = 第3ピーク ※2019年度実績は大阪出入国在留管理局発表の実績値を用いています。

(出発)国際線日別旅客数予測グラフ



(到着) 国際線日別旅客数予測グラフ

